SMALL BUSINESS ASSOCIATIONS OF THE YAMAGUCHI PREFECTURE



中小企業



組合情報化推進研修

(山口市)

特集 平成29年版 中小企業組合白書

- 一いま、これを伝えたい!―
 - 山口県火災共済協同組合
- 組合等ニュース紹介
- シリーズ「企業組合商品紹介」

企業組合工房HaHa「工房HaHa弁当」

平成29年度組合情報化推進研修を開催!

■ シリーズ「ものづくり補助金活用事例紹介」

株式会社プライムゲート 株式会社ブンシジャパン

- 休
- 景況動向
- 「自由民主党山口県連」に要望書を提出
- 山口UBA・全青協中国ブロック協議会を開催!
- 山口県中小企業団体中央会トップセミナーのご案内
- 申小企業組合教室のご案内

中小企業・組合を応援します!~創業・連携・運営を支援~

◆ 山口県中小企業団体中央会

いま、これを伝えたい!

共済組合員を全力応援 中小企業者のお役に立つ共済を目指して 山口県火災共済協同組合

おかげさまで60周年

昭和32年10月12日に山口県火災共済協同組合として設立されてから今年で60年となります。当時としてはまだまだ普及途上にあった火災への備えを、相互扶助の精神のもと安い掛金で中小企業に提供、普及を目的として発足しました。以来、県内の企業団体と代理所契約を結びながらともに歩みを進めてきました。

現在、128の代 理所の皆様ととも に、山口県内の中 小企業のお役にた てるよう共済事業 を展開しています。



お役に立つ共済を目指して

近年、「お客様の意向を大切に」という共済・保 険業界全体の流れの中で、当共済も質の高いお役に 立つ共済商品をご提供すべく、その実現に力を注い でいます。

昨年は『火災共済』の商品内容を一新し時代に合った求められる補償に沿うものとしました。

また、独自商品である自動車事故に備える『まごころ共済』の改定も行い、自動車共済では賄いきれない中小企業者の負担軽減に、より役立つものとしました。

これからも、組合員ニーズに答えられるよう既存 商品の改定を予定しており、役立つ共済への道を着 実に進めてまいります。

新しい共済商品の開発

中小企業者を取り巻く 様々な危険に対して、新た な商品を開発し、事業継続 のお手伝いをしていきます。

その一つとして、昨年度、 『休業対応応援共済』を発 売いたしました。火災、風 災、水災等の被害により休 業した場合に加え、昨今甚 大な被害を発生させている



地震による建物の損壊により休業を余儀なくされた

場合にも補償することができます。地震被害による 中小企業者の事業再開に対応できる共済として、中 小企業庁も注目しています。

職員の資質向上を目指して

商品改定とともに力を入れているのは、提供側である職員のスキルアップです。16名の役職員全員が幅広い知識の修得に努められるよう、組織としての支援体制を整え、各種資格の取得を目指しています。これにより、より充実した契約者への奉仕を目指していきます。また、チーム火災共済として維新公園競技場での6時間リレーマラソンに毎年参加、理事長以下ほとんどの男性職員が参加して意思の手綱をつないでいます。

今年のイベント

60周年記念キャンペーン として、現在加入の証券コピーを提出することにより、 プレゼントの当たるキャンペーンを実施中です。12月末まで行っています。プレゼント商品も、まぼろしの高森牛など最高級品を用意しました。こちらの方もよろしくお願いします。





🚱 県共済 山口県火災共済協同組合

【組合概要】

○ 理事長:和田 卓也

○ 住 所:山口市中央4丁目5番16号

(商工会館3階)

○ **2** 083-925-6370 FAX 083-925-6372

○ URL: http://y-kyosai.axis.or.jp/



特惠 平成29年版 中小企業組合白書

全国中小企業団体中央会(以下、全国中央会)は、平成29年版中小企業組合白書を編纂しました。 概要は以下のとおりです。

事業協同組合・商工組合の実態調査結果の概要

全国中央会は、「平成27年 度事業協同組合・商工組合実 態調査」調査結果を踏まえ、 さらなる実態把握のため、平 成28年度は中小企業組合及び 組合員企業を対象に平成28年 8月1日時点で調査し報告書 として取りまとめた。



組合及び組合員に期待され

る役割として、①組合員情報の蓄積、②組織目的、 ビジョンの明確化、③組織体制の構築が求められて おり、必要な情報を必要な時に提供するために、組 合員への「情報提供のあり方」が一層重要性を増し ており、その積極的な取組みが期待されている。

最近の中小企業組合等連携組織の動向

(1) 組合設立の動向

中小企業組合の新規設立数は、22年度303組合、 23年度333組合、24年度339組合、25年度327組合、 26年度362組合と300組合台で、27年度では440組合、 28年度406組合と27年度と同様に400組合を超えている。

新設組合を組合の種類別にみると、事業協同組合 は373組合と全体の9割を占めている。企業組合は、 13年度までは新設組合の1割近くを占め、15年度か らは2割台となった。その後、22年度14.2%、23年 度13.2%、24年度13.6%、25年度16.5%、26年度 11.9%と1割で推移したが、27年度7.5%、28年度は、 31組合で7.6%と1桁で横ばいとなっている。

また、新設組合を業種別にみると、異業種178組 合が最も多く、以下、サービス業78組合、建設業58 組合と続いている。

(2) 組合から会社への組織変更

平成11年の「中小企業団体の組織に関する法律」 の改正により、事業協同組合、企業組合、協業組合 については、株式会社又は有限会社への組織変更が 可能となった。

法施行から29年3月末までの間に、会社に組織変 更したのは610組合である。内訳は、事業協同組合 からの組織変更318、協業組合からの組織変更192、

企業組合からの組織変更100である。

(3) 全国中小企業青年中央会(UBA)の動向

「組合青年部」は中小企業組合を母体として、概 ね45才以下の若手経営者や企業の後継者等により組 織されている。組合青年部のほとんどは独自の会則 や事業予算を設け、実に多様な活動を行っている。

「青年中央会」はすべての都道府県において設立 されており、東北・北海道、関東甲信越静、東海・ 北陸、近畿、中国、四国、九州・沖縄の7つのブロッ ク単位に集約されているほか、全国組織として「全 国中小企業青年中央会(全国青年中央会)」が設立 されている。平成27年度に呼称を「UBA (United Business Associations)」とした。

全国青年中央会の構成員数は平成26年11月末時点 で約1,616組合青年部等、約35,000名にのぼる。国 等との意見交換や各種中小企業施策に関する情報提 供などをはじめ、地域単位では実施が難しい多くの 事業を展開しており、全国レベルでの交流事業など も実施している。

(4) 全国レディース中央会の動向

各府県単位のレディース中央会(中央会女性部・ 女性中央会) が順次設立される中、全国組織の設立 機運が高まり、平成19年11月、宮城県仙台市におい て全国レディース中央会(以下「全レ中」という。) は設立し、本年で10周年を迎える。

全国レベルでの交流と連携を実現するとともに女性 経営者等の研鑽を進め、統一活動として①観光、② 産業物産、③まちづくりの3点を掲げ、地域の関係者 とともにビジョンの共有化に向けて活動している。

今後も、女性部の未設置中央会や女性部未組織の 組合等への積極的な働きかけや女性起業家の支援等 にも取り組むとともに、女性経営者等による活動の 輪を拡大していく。

(5) 中小企業組合士の動向

中小企業組合においては、組合員である理事はそれ ぞれの事業を営んでおり、組合事業に専念できない場 合が多く、組合の事業の円滑な遂行には事務局の充実・ 強化が必要である。共同事業の企画、実行に携わる 組合事務局の組織体制及び事業遂行能力の如何が、

組合事業の成果を左右するといっても過言ではない。

経営環境が大きく変化し、組合員のニーズに沿った共同事業を行うためには、事務局を核として組合員の英知を結集していくことが重要である。また、そのような中で組合は中小企業の諸問題解決のための相互に結集した積極的な事業活動の展開が求められており、一層の機能強化が不可欠である。

中小企業組合の事務局に従事する役職員は、少ない人数で組合事業、経理、各種届出、庶務事項等の 多種多様な業務を処理していかなければならないが、 組合特有の事項も多く、専門的知識を習得する必要 がある。

中小企業組合士制度は、こうした中小企業組合に従事する役職員の資質向上を図ることを目的としている。職務の遂行に必要な知識に関する試験として「中小企業組合検定試験(中小企業等協同組合法第75条第1項第4号に定める全国中央会事業)」を行い、その合格者のうちから3年以上の実務経験を有するものに対し「中小企業組合士」の称号を与える制度である。

中小企業組合検定試験は、「組合制度」「組合運営」「組合会計」の3科目について実施されるが、昭和49年度から平成28年度までの延べ受験者数は19,960人、合格者は8,119人に達している。また、中小企業組合士の認定を受けている者は、平成29年6月1日現在、3,041人となっている(組合士の認定を更新しなかったものを除く)。

(6) 中小企業等経営強化法の経営力向上計画認定の動向

中小企業等経営強化法(施行:平成28年7月)に基づき、「経営力向上計画」の認定を受けた中小企業・小規模事業者については、機械装置の取得に関する固定資産税の軽減や資金繰り等の支援措置施策が利用できる。

平成29年8月31日時点で、31,794件の事業計画が 認定されている。

(7) 農商工等連携の動向

「中小企業者と農林漁業者との連携による事業活動の促進に関する法律(農商工等連携促進法)(施行:平成20年7月)」に基づき、中小企業者と農林漁業者が共同で作成した農商工等連携の事業計画が経済産業局から認定されると、信用保証制度の別枠化、金融措置(無利子・低利融資、信用保険の特例)、補助金の申請等の各種支援施策が利用できる。

事業計画は、中小企業者と農林漁業者をサポートするサポート機関等で実施され、この中には、中小企業組合が主体の事業計画や連携に参加しているもの、都道府県中央会が連携体に参加しているもの、サポート機関に参加しているものが含まれる。

平成29年8月10日時点で、1,691件の事業計画が 認定されている。

(8) 地域資源活用組合の動向

各地域の強みである地域資源を活用して新商品の 開発等の事業を行う中小企業を支援するため、「中 小企業地域資源活用促進法(施行:平成19年6月)」 に基づき、中小企業者が単独又は共同で、地域資源 を活用して新商品・新サービスの開発・市場化を行 う「地域産業資源活用事業計画」が認定されると、 補助金、低利融資等の各種支援施策が利用できる。

平成29年8月10日時点で、1,816件(農林水産物692件、鉱工業品1,086件、観光資源177件(重複案件があるため数値の合計は一致しない))の事業計画が認定されている。このうち、中小企業組合の認定数は下記の34件である。

(9) 新連携・経営革新の動向

「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律 (中小企業新事業活動促進法)(施行:平成17年4月)」 に基づき、2以上の異分野の中小企業が連携し、新 たな事業活動に取り組む「異分野連携新事業分野開 拓計画」が認定されると、補助金、低利融資等の各 種支援施策が利用できる。

平成29年6月9日時点で、1,124件の事業計画が 認定されている。このうち、組合がコアになってい る案件は6件である。

また、同法に基づき、中小企業者が経営の向上を目指して、①新商品の開発や生産、②商品の新たな生産や販売方法の導入、③新サービスの開発や提供、④サービスの新たな提供方法の導入その他新たな事業活動に取り組む場合にも、「経営革新計画」を作成し承認を受けると、低利融資や信用保証の特例等の各種支援施策が利用できる。

平成29年3月末時点で、68,370件の事業計画が承認されている。

(10) 地域商店街活性化法認定組合の動向

商店街ならではの「地域コミュニティの担い手」という機能を発揮することにより、商店街の活性化を図ることを目的として「商店街の活性化のための地域住民の需要に応じた事業活動の促進に関する法律(地域商店街活性化法)(施行:平成21年8月)」に基づき、商店街が地域住民の生活の利便を高める「商店街活性化事業計画」が認定されると、補助金、低利融資等の各種支援施策が利用できる。

平成28年6月17日時点で、116件の事業計画が認 定されている。

さと くりゃ 里の厨新米祭り

里の厨事業協同組合 (理事長 友弘 啓)

このたび、光市産のお米をブランド化するため、 "ひかりのおこめは『いとうまい』"をキャッチコピー としてPRすることとなり、9月10日、光市の里の 厨で新米の試食・販売、抽選会の祭りを開催しまし た。良い天気に恵まれ、新米コシヒカリの試食もあっ という間に無くなり、抽選会場に来場者の長い列が 出来ました。森田理事は、「長い日照時間の光市の お米は、うま味が詰まっていて美味しいです。たく さんの方に食べて頂きたい。」と話されています。

*『いとうまい』は、伊藤博文の「いとう」&米の「まい」 と、とてもの「いと」&美味しいの「うまい」の意。



6次産業化・農商工連携推進大会に出展

10月16日、山口市にて「やまぐち6次産業化・農商工連携推進大会」が開催され、県内の6次産業化・農商工連携事業者が開発した商品を展示するとともに、農林事業者・食品産業事業者・流通関係者・参加事業者等の相互交流が図られました。

本会の会員では企めあぶホームメイド、企かんね栗の里、企廣田養蜂場がそれぞれ個別出展し、本会ブースにて企彩菜がハーブティー・ハーブソルトのPRを行いました。参加された企彩菜の安本理事長は「様々な事業者と知り合うことができてよい機会だった」と感想を述べられました。



山口市中心商店街『ぶち賑わいフェスタ』

山口道場門前商店街振興組合(理事長 北條 栄作) 協同組合米屋町振興会 (理事長 川口雄一郎) 中市商店街振興組合 (理事長 森生 信雄)

9月23日仕)~24日旧)、山口市中心商店街の道場門前、中市、米屋町の3商店街で、『ぶち賑わいフェスタ』を開催しました。

道場門前商店街では、カレー人気店が出店の「どうもんカレーフェスティバル」を開催。米屋町商店街では、シンボルマークが「88」に見えることにちなんだ「88セール」や県内のおすすめパン屋が出店の「パンマルシェ」を開催。中市商店街では、市内大学生らによる「結人祭~学生と地域の人々を繋ぐお祭り」で、ステージや街角でよさこい等のパフォーマンスの披露がありました。





"食に関わる"企業組合商品紹介

企業組合工房HaHa ***

工房HaHa弁当

企業組合工房HaHaは、光市にある農業振興拠 点施設である「里の厨」の加工所において、任意 グループとして活動している時から、地域の農林 水産物等を中心に使用した安心・安全な菓子や弁 当、惣菜等の加工品の製造販売に取り組んでいま す。地元産の農産物を活用した「フルーツういろ う」や「プリン」等の菓子をはじめ、「ジャム」 や「オリジナルフルーツ団子」等は、どれも人気 商品です。今回は、そんな「企業組合工房 HaHa」の菓子と並ぶ看板商品である「工房 HaHa弁当」を紹介します。

組合名 企業組合工房HaHa

住 所 山口県光市東荷2391-19

話 0820-49-0831

◆工房HaHa弁当

この弁当のおかずや ご飯に使われる素材は、 地元である光市産の農 産物を活用し、安心・ 安全にもこだわった、 ボリューム感満点なお 弁当です。ご飯も、白 ご飯だけでなく、ちら し寿司や炊き込みご飯 にされるなどと工夫さ れております。おかず も日々違った物が盛り 込まれており、毎日で も楽しめるお弁当です。



そんな工房HaHa弁 当は、光市の農業振興

拠点施設である「里の厨」で販売していますので、是非、 ご賞味下さい。

平成29年度組合情報化推進研修を開催!

10月13日(金)、10月16日(月)、10月19日(木)の3日間、業務の効率化やITレベルの向上を図るため、組合情報化 推進研修を開催しました。

10月13日 金は、整理収納コンサルティング片づけパンダの中村美夕紀氏をお招きし、整理や管理の基礎を学 んだ後、書類のファイリングやパソコン上のフォルダの管理の仕方などを学びました。講義はグループで話し合い をしながら進められました。

10月16日(月)は下関市、10月19日(木)は山口市で、有限会社アオイの早稲田真弓氏をお招きし、パワーポイントを 用いたチラシなどの作成方法を学びました。パワーポイントの基礎的機能をしっかりと学び、最後に応用として実 際にチラシやPOPを作成しました。

参加者は熱心に聴講しており、今後の業務に活かしていきたいと意欲的な様子でした。





シリーズ『ものごべい補助金活用事例紹介』 その54

『IT化による次世代CベースLSI設計の適切な生産効率確立』

平成25年度補正

(形 態) ものづくり技術 一般型

(事業類型) 試作開発+設備投資

(会社概要) 当社は大規模集積回路 (LSI)

の設計を中心に、設計コンサルティ ング、アプリケーション等の開発を 行っています。今後発展し続けるエ アントからも高い評価を得ています。

本システムはLSI設計手法の世代交代の実 現に寄与するものであり、日本の半導体事業 の復権の可能性を秘めています。当社として は本技術を自社で使用することによって、LSI 設計データの知的財産の作成販売による高付 加価値化や、生産性上昇を基に他の業態と連 携することで、短期間の製品開発に結びつけ たいと考えています。

レクトロニクスの世界で、「高品質」「短納期」にこだわったLSIの開発等はクライ



代表取締役 梅田 芳直 氏

(事業概要)

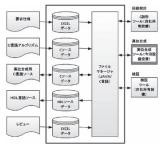
大手電気メーカーにはCベース設計でLSIを製造しているところもあるが、 生産性は次世代設計手法の水準に至っていない。そこで当社は、従来からC

ベース設計手法を研究してきたこともあり、今回LSI設計手法の世代交代に向けてシステムを開発 し生産効率化を図ることにしました。

従来の要求仕様やレビューによる協議書は、WORDやEXCELに よって管理されているため目視の確認が必要で、回路設計において もHDL言語によるLSI設計が行われていました。

本事業では、EXCEL形式に統一したエントリー方式とし、これを

C言語ソフトで加工し設計デー タと連携させました。また、当 社所有の検証ツールと連携動作 させて、要求仕様からLSI設計 データに至るまでの整合性確認 を自動化しました。



CベースLSI設計システム

株式会社プライムゲート

〒755-0153 宇部市床波1丁目6-13 TEL: 0836-54-0016 FAX: 0836-51-4989 URL: http://prime-gate.com/primegate/index.html

シリーズ「ものごべい補助金活用事例紹介」(その55

『ベルト除菌洗浄装置の選択仕様(バリエーション)拡大による様々な食品製造工場への拡販』

平成25年度補正

ものづくり技術 一般型 (形 態)

(事業類型) 試作開発+設備投資

(会社概要) 昭和32年創業。昭和38年に包装 資材卸売りを開始し、一般包装資

材・食品容器・フイルム包装・包 装機械・デザインパッケージまで取

の方々のご協力を得て開発した「アンベル」 がここまで成長出来ました。展示会、貸出し 営業を通じメーカーとしての全国レベルの認 知度が向上し、既存事業と相乗した総合サポー トの道が拓けました。これからも様々な業種 のお客様に納得してもらえる品質管理の「未 来標準」を提供していきます。

ものづくり補助事業に認定いただき、多く

り扱う食品業界の総合商社です。また食品環境衛生支援も行い、ISO取得支援コ ンサルティング、PCO(防虫、防鼠、害虫)業務も実施しています。企画・製造・ 販売まで一貫して自社製品開発を行っています。



代表取締役 藤村 周介氏

(事業概要) 独自開発の商品『アンベル』は、食品製造中のコンベアベルトを自動で除菌洗

浄できる装置で、均一の荷重で拭取ることにより安定した除菌効果が得られ、商品切り替え時に清掃す る必要が無く、大幅な生産性の向上ができます。除菌清掃装置と洗浄方法は、これまでにない技術の 創出であると考えて、知財の権利化を進め、平成26年6月20日に特許を取得し、平成27年11月に「もの づくり日本大賞」中国経済産業局長賞を受賞しました。

本事業では、多様な食品製造工程におけるお客様の期待に応えるため、展示会や工場訪問で得られ たお客様の声を分析し、3機種(各種スライス、おむ

株式会社ブンシジャパン

〒746-0015 周南市清水2丁目3-7 TEL: 0834-62-2575 FAX: 0834-62-4283

URL: http://www.bunshi.co.jp/

すび・シューク リーム等ライ ン) のデモ機 の試作開発を しました。



ベルト除菌洗浄装置『アンベル』



月次景況調査結果

平成29年9月期

※DI値(前年同月比)=増加・好転組合割合-減少・悪化組合割合 (表については、情報連絡員60名の他に、中央会が聞き取り等で集めた20組合のデータが加算されています。)

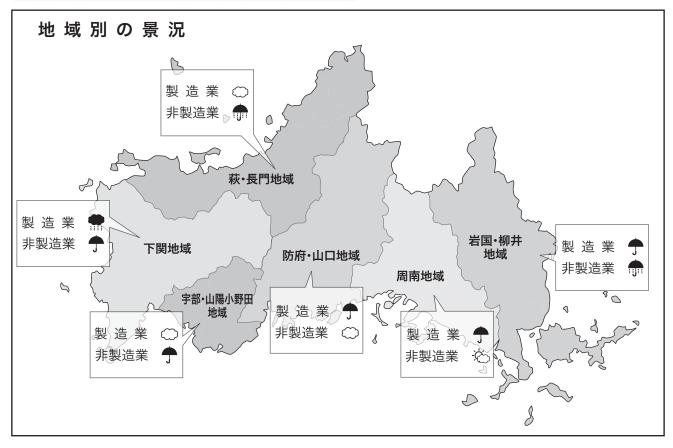
9月の業種別景況の前月比DI値は14業種の内、好転が4業種、悪化が3業種、昨年同等が7業種ではあるが、全体の景況感DI値は若干の悪化となった。

食料品、小売業の一部で売上が増加傾向で、 窯業・土石製品、運輸業の一部でも受注が順調 な模様であるが、サービス業、建設業等では台 風の影響等もあり景況感は悪化している。

人手不足が続いており、働き手の確保が話題 の中心となっている。

業種別の景況

未注 <i>加</i> 多汞加							
	į	業 [;]	種	前年同月比	前月比		
	食	料	品		7		
製	繊	維工	. 業	†	→		
	木材	・木	製品		→		
造	印		刷		→		
	窯 業	・土石	製品	†	7		
業	_	般 機	器	**	7		
	輸	送機	器	†	\rightarrow		
	卸	売	業	**	\rightarrow		
	小	売	業		7		
非	商	店	街	1	→		
製造	サ -	- ビ	ス業		7		
	建	設	業	•	7		
	運	輸	業	0	7		
	そ	の	他	·	\rightarrow		



情報連絡員報告

平成29年9月期

地区・業種を代表する県内組合の役職員60名の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ(http://axis.or.jp/)の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

	_				
	食	料	品		○ 行事や季節のお菓子が売れなくなっている。消費者に『菓子と日本の伝統行事』として 啓発するような事業が必要かもしれない。 (菓子製造業) ○ 台風18号の影響で3連休(16~18日)の売上は厳しかったものの、24日時点で対前年同 月比+4.9%と健闘している。 (水産食料品製造業)
製	繊	維工	業	†	○ 布帛製品が販売不振で、取扱製品の転換が必要。 (外衣・シャツ製造業 山口市) ○ 組合員によって受注量にかなりの差が出ており、メーカーも少ロット、多工程の生産工 場の確保に苦戦している模様。 (外衣・シャツ製造業 萩市)
	木木	材 製	品品	†	○ 公共工事関連で仕事量はあるが、退職による従業員の減少を補充できない組合員が出ている。人手不足である。 (製材業・木製品製造業)
造	印		刷	†	○ 7、8月に引き続き9月の受注も芳しくない。新聞折り込みチラシの落込みが大きく、年末に向けて前年並みの受注が確保できるか不透明である。 (印刷)
業	窯土	業 石 製	品品	†	○ 生コンの出荷量は、前年同月比で80%であった。岩国の基地関連工事の終了による影響が大きい。 (生コンクリート製造業)○ 彼岸を迎えるも忙しいと言った声は聞こえない。昨年の仕事の無さから土木の仕事をしている組合員は、その方が忙しく本業が疎かになっている。 (石工品製造業)
	— i	般 機	器		○ 海外プラントは若干好転しかけている。雇用は慢性の人手不足で、特に熟練技術者が不足している。自動車関連は金型を中心に全般的に好調。衆議院選挙後が気がかりとなっている。 (一般機械器具製造業 防府市) ○ 機械検査、機械加工関係の受注状況は引き続き安定している。自動車、造船関係は好調で残業も多く、パート、派遣等人材の確保が困難なため、外国人技能実習生受入の増員の相談がある。 (一般機械器具製造業 宇部市)
	輸	送 機	器	†	○ 鉄道車両部門は長期作業量に恵まれ順調だが、精密加工部門とプラント部門の落ち込みが大きく、全体的には前年並み程度である。 (鉄道車両・同部品製造業)
	卸	売	業		○ 魚の入荷が少なく売れ行きも悪いが、「ふく」は昨年より多く値段が安くなる傾向である。 (生鮮・魚介卸売業)
非	小	売	業	†	○ 徳山駅前図書館の開業が平成30年2月3日と発表され、駅前周辺の工事が最終段階に入った。商店街との融合策が当面の課題である。 (各種商品小売業 徳山市) ○ 来街者数は台風等の天候等に左右されるが、一方で「良い品物」を選択し購入する客も多いため、これが売上に繋がっている。 (各種商品小売業 山口市) ○ お盆明けからの不況が回復することがなく、組合員からも昨年に比べ商店街への来客数が減少しているとの声が上がっている。 (各種商品小売業 下関市)
	商	店	街		○ 近隣商店街との合同イベントは集客に寄与しているが、なかなか売上に結びつかない。実施しないと更に衰退すると考えられ、空き店舗対策が急がれる。 (山口市)○ 秋物商品を入荷。品定めの来店はあるが売上に繋がらず嘆いている。 (萩市)
製造	サー	-ビス	、業	†	 新規オープンで美容室は増え続けており競争が激しく、売上が減少している。安売りの店も増え、新規客や遠のいた客等の掘り起こしに躍起になっている。 (美容業) 働き手の確保が話題の中心となっている。 (スポーツ・健康教授業) 観光シーズン第一弾の連休に台風が来てキャンセルが続出した。9月からディスティネーションキャンペーンが始まったが、このイベント客はほぼない。 (旅館業)
業	建	設	業		○ 台風の雨の影響が少しあった。今年度の主な発注は終わり下半期の発注は減る見通し。 相変らずの誘導員(ガードマン)不足に対応するため、誘導員の都合を優先して工程を組 んでおり、人件費も上がっている。 (管工事業)○ 高校跡地の、図書館、防災公園、駐車場整備等が始まり、地域にとって重要な拠点と して活性化の原動力となるよう期待している。 (土木工事業)
	運	輸	業		○ 鉄鋼素材等輸送はドライバー不足と長距離稼働時間の制限で輸送量が減少し、収益も悪化。中近距離輸送は順調。輸出関連輸送がやや増加。 (一般貨物自動車運送業) ○ 人員不足が解消できない状況が続いている。台風接近で飲食街の利用減少もあったが、もともと企業関係や個人利用が減少している模様で、再び景気減退の状況に陥っているような気がする。 (一般旅客自動車運送業)
	そ	の	他	1	○ ようやく技能実習生(介護)が動き出すので期待している。 (介護事業)

「自由民主党山口県連」に要望書を提出

山口県中小企業団体中央会

10月13日俭、自由民主党山口県支部連合会において、本会寺田専務理事から、島田教明政務調査会長、吉田充宏商工観光部会長らに「平成30年度要望書」を提出し、意見を申し述べました。

要望項目は、「中央会予算の確保・充実」、「ものづくり等補助金の継続」「事業承継に対する支援の 充実」、「移動中央会における個別要望の実現」など全9項目です。

このうち、特に、「移動中央会における個別要望の実現」は、昨年度に引き続き県内各地で開催した「移動中央会」で会員の皆様から意見をいただいた28の個別要望を取りまとめたものであり「公共事業の推進及び公共工事の発注平準化」「食品表示の弾力的実施」「県内温泉地、観光地の知名度の向上」等について、重点要望を行いました。

本会では、引き続き、要望項目の実現に向け、国等に対しても、全国中央会等を通じ働きかけていくこととしています。





山口UBA・全青協中国ブロック協議会を開催!

山口県中小企業団体中央会青年部(会長 山田 泰史) 山口県印刷工業組合青年部(会長 増山 真吾)

9月30日出に当会青年部と全国青年印刷人中国ブロック協議会とで、セミナーを開催しました。

これは、それぞれの全国組織である、全国中小企業青年中央会と全国青年印刷人協議会の呼び掛けがきっかけで企画され、それぞれの地域ブロックが連携してセミナーをする事で、それぞれの持つ「知(技術やノウハウ)」を共有してイノベーションを起こす事を目的に開催されました。まず、チームビルディングとして、経営要素を織り込んだペーパータワー(自立可能な出来るだけ高いタワーを建てるゲーム)に始まり、自社で扱っている商材やサービス等を出し合い、それぞれをコラボさせ、新たなサービスを考えるワークショップ、最後に、イノベーションを起こす為に必要な考え方等についての講演がありました。









組合等の代表者向けのセミナーを

平成29年12月5日火 15:00~18:30

【会 山口グランドホテル

山口市小郡黄金町1-1 TEL: 083-972-7777

第1部 講演会 15:00~16:30 【内

「ストーリーとしての競争戦略」(仮)

講師:楠木 建 氏

第2部 交流会 17:00~18:30 組合や企業との貴重な交流の場です。

【交流会参加料】 5,000円/1人 事前に銀行振込をお願いします。



平成24年度補正ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金から平成27年度補正もの づくり・商業・サービス新展開支援補助金に取り組まれた事業者の成果を広く発表し、ビジネス連携 や商談に繋げる事を目的に同時開催します。

【問合せ先】 山口県中小企業団体中央会 連携支援第一課 前田・花田

TEL: 083-922-2606 http://axis.or.jp/ ホームページからも申込が出来ます。

中小企業組合を運営・管理して いく上で必要な組合関係法令、労 働や会計などのポイントを解説す る組合教室を開催要領により開催 いたします。

時】平成29年11月22日水 13:30~16:20 【日

【会 場】 山口市中央四丁目5番16号 山口県商工会館6階 小会議室

【内 容】

【ほんとは危険な 労務管理あるある】

・よくある労働トラブル ・トラブルを避けるためのポイント

開催時間 13:30~14:20

舗

飯田労務管理事務所

代表 特定社会保険労務士

飯田 晃啓 氏

【簿記の基本と 中小企業組合会計】:

- ・簿記の基本
- ・貸借対照表と損益計算書の関係
- ・会社会計と中小企業組合会計との違い

: 開催時間 14:30~15:20

:講師

中野会計事務所 公認会計士

上條 玲 氏

【組合運営·組合制度 : 組合検定試験直前対策】

・組合制度

1964年東京都目黒区生ま

れ。一橋大学大学院国際

企業戦略研究科教授。 2011年のビジネス書大賞、

経営書としては異例の20

万部を突破した、ベストセラー「ストーリーとし

ての競争戦略」の著者。

- ・組口間域 ・組合事業の運営と事務局の機能 ・組合検定試験直前対策

:開催時間 15:30~16:20

師

山口県中小企業団体中央会

管理・企画課

主事 松村 昌典

【受講料】無料 【定 員】 30名

【問合せ先】 山口県中小企業団体中央会 連携支援第一課 前田

http://axis.or.jp/ ホームページからも申込が出来ます。 TEL: 083-922-2606



地元大手企業からの共同受注事業及び共同保管事業を展開する当組合に平成15年に入職して以来、組合事務局の中枢として組合運営に携わっています。平成21年に組合士の認定を受け、平成23年からは山口県中小企業組合士会の理事としても活躍されています。この度、全国中小企業組合士協会連合会より、中小企業組合士制度の普及・振興の功績を称えられ「協会運営功労者」表彰を受賞されました。

「今後も組合士として組合を支えるとともに、中小企業組合士会の理事として組合士制度の普及促進に取り組み、女性会員や若手会員が増えるよう尽力していきたいです。」と語っておられました。

☆防府流通センター協同組合

〒747-0833 防府市大字浜方473-14 ☎ 0835-23-9976

①山口県中小企業団体中央会

〒753-0074 山口市中央4丁目5番16号 山口県商工会館6階 ☎ 083-922-2606 Fax 083-925-1860 HP http://axis.or.jp/

印刷製本 株式会社 桜プリント社

